

第 4 回トラック輸送における取引環境・労働時間改善滋賀県地方協議会  
議事録

1. 日 時

平成 28 年 9 月 29 日（木） 14：30～16：15

2. 場 所

滋賀県トラック会館 3 階 視聴覚室

3. 出席者名

浜崎 章洋	大阪産業大学経営学部 教授
小林 邦彦	一般社団法人滋賀経済産業協会 事務局長（代理出席）
谷口 孝男	滋賀県商工会議所連合会 専務理事（欠席）
上西 保	滋賀県商工会連合会 副会長
安田 昌生	滋賀県中小企業団体中央会 副会長
浅野 邦彦	滋賀県倉庫協会 会長
生駒 弘信	株式会社アヤハディオ 取締役 管理本部 本部長
安河内 章	キンピール株式会社滋賀工場 総務広報担当部長（欠席）
田中 亨	一般社団法人滋賀県トラック協会 会長
甲斐切 稔	一般社団法人滋賀県トラック協会 副会長
野村 康則	センコー株式会社 常務理事・京滋主管支店長
竹内 真也	日本労働組合総連合会滋賀県連合会 副事務局長（代理出席）
矢田 収宏	全日本運輸産業労働組合滋賀県連合会 執行委員長
藤中 基之	滋賀労働局 労働基準部長（代理出席）
高瀬 幸子	近畿経済産業局 産業部流通サービス産業課長（代理出席）
大辻 統	近畿運輸局 自動車交通部長（代理出席）
岡田 研二	近畿運輸局 滋賀運輸支局長

（報道関係）

木村 麻理奈	株式会社物流産業新聞社
大塚 仁	トラック情報社
小菓 史和	物流ニッポン新聞社
遠藤 仁志	輸送経済新聞社

(傍聴)

岩本 二郎 伏見運送株式会社

#### 4. 開会の挨拶 (大辻部長)

トラック事業は日本の経済・産業を支えている重要な基幹産業と思っているが、この業界は9割が中小企業ということで中々荷主様とのお取引の関係で弱い状況であることは否めない。先般、第3回協議会で実態調査のご報告をさせて頂いた所であるが、その中で取引環境・労働時間の観点で申し上げるとドライバーの手待ち時間が出先で1～2時間かかってしまうであるとか、書面化されていない荷役が料金として収受出来ていないなど、数々の問題点・課題というのが明らかになった。本日は、第4回ということで引き続きこれらの課題の糸口を見つけるということで、こちらにおられる厚生労働省と国土交通省が一緒になって、今年度・来年度と二カ年に渡ってパイロット事業をさせて頂く。そのパイロット事業の中身については、これから事務局が説明するが、このパイロット事業を通じて先般課題となった解決の糸口を見つけ、労働者の労働環境であるとか取引環境の改善に向けた取り組みを着実に前に進めて行きたい。

#### 5. 事務局より説明 (前回資料の差し替え説明含む)

議題1. 第3回協議会の発言要旨について

議題2. 平成28年度パイロット事業の実施について

#### ○浜崎座長

事務局一任ということで合意されたパイロット事業について、発荷主をサンスターさんに決めて頂いた。日用雑貨メーカーさんが日用雑貨の卸の所に納品するという、この発着の所を詳しく調査していくということであるが、具体的には路線便・貸切便とある中で、今回は特に貸切便の待ち時間がどうなっているのかという実態を見ていくことになる。特に、卸売業のセンターへの納品というのは、皆さんもご存じのとおり待ち時間が長いと言われているので、その点においてもよい荷主を選んでいただいたと思っている。

委員の方に経験則の中から、特に注意して調査した方がいい、確認した方がいい等アドバイスがあれば頂きたい。

#### ●野村委員

物流センターの規模によって待ち時間の状況が違うので、色んな規模の間屋さんを選んで頂くのが良いかと思う。

#### ○事務局

実は、ターゲットは絞っている。大きい卸業者と聞いている。1社に絞る。

●野村委員

着荷主も匿名か。

○事務局

現時点ではその予定。

○浜崎座長

日用雑貨も販売しておられ、卸売もしておられるアヤハさんいかがか。

●生駒委員

物流業者の規模は色々で下請け・孫請け・ひ孫請けであったり、どこまでの実態を捉えるのかわからないが、問題点は末端に行けば行くほど状況が変わってくる。

納品時間の指定について、なぜその時間か等も聞いてみたい。順番等も。

●安田委員

卸先について、季節によって違うというのもあるが、TCなのか在庫型なのかそれによって大きな違いがある。そういった二種類あるというのであれば、2か所やってもらいたいという思いがある。TCであれば効率化を狙われていることもあってTCでは付帯作業が付いて回る。両方見てもらうことで実態がよくわかると思う。

○事務局

これからヒアリング・調査していく中で考えていきたい。

●矢田委員

コンサルについて教えてもらいたい。

○事務局

パイロット事業をするにあたって、予算の出所が厚労省・国交省・全ト協と3つある。滋賀県については全ト協の予算となった。全ト協の予算においては、日本PMIさんというコンサルにお願いすることになる。

○後藤課長

どこの予算になるかは中央で決められている。近畿では滋賀と和歌山が全ト協、それ以外は厚労省となっており、厚労省予算であれば日通総研であるが、国交省予算は近畿にないのでどこのコンサルを使っているかはわからない。

●田中委員

資料2のP2について、検討会が第1回から第3回と記載されているが、もっと詳細に渡った検討というものを必要としないか。必要とするのであればWGの設置がいるのでは。

○事務局

この協議会を進めるに当たって、着荷主等を決めることが先決であり、WGまでの検討は出来ていない。どこかの府県でWGを立ち上げたと聞いているが、その理由はトラック協会の予算を使いやすくするためであるので、滋賀県ではその必要性はないと思っているところ。

○浜崎座長

データや結果だけを見せられても理解も進まないし、その場で意見や改善策を求められても難しい。WGという大々的な組織とするかは別として、途中経過を聞くことが出来たり、意見を言えるような場を設けてもらえると意見も言いやすいし、改善案も出やすいと思うが、可能か。

○事務局

メンバーをどうするか、日程調整が難しいと思われるが、検討はしたい。

○浜崎座長

大々的なものでなくても、途中経過報告会という形で有志だけでも参加できるようなものでもあってよいと思われるが、ぜひ検討願いたい。

この協議会の一番重要なところであるので、きれいごとの報告書ではなく、やはりきちんと改善について議論出来るような場にしたいと思う。

●田中委員

人数的には4～5人と思う。この協議会は資料を元に大抵国交省から資料についての説明が大半である。それをその場で咀嚼してそれに対して即答的な意見を求められると、掘り下げた議論にならない。4～5人であれば掘り下げて格好つけなくて良い意見が出せるし、密度の濃い内容になるのでは。

○事務局

検討したい。

6. 事務局より説明

議題3. 改善基準告示等の周知について

議題4. その他（第4回中央協議会の情報提供について）

- ア) 地方協議会におけるパイロット事業の進捗について
- イ) 運賃・料金について
- ウ) 貨物自動車運送事業における生産性向上について
- ・平成27年度 自動車運送事業者に対する監査と処分結果について
- ・平成27年 トラック運送事業者定期監督指導実施結果について

○浜崎座長

(監査・監督結果について)

こういった違反があるということは良くないことかもしれないが、運送会社さんだけでは解決出来ない問題ということもある。これを是正するために、今回のパイロット事業もあるし、取引環境・労働時間の改善ということによって解決していけるのかなとも思う。長時間労働がなくなることで若い人達がドライバー職を希望してもらえ、人材不足も解消できるのではないか。この協議会でこういった問題を減らし、解決していきたい。

7. 閉会挨拶 (藤中部長)

全国的に働き方の見直しについて社会的に高まっている。安倍総理からは働き方改革との表明もされている。その中で労働時間の改善を大きな目的の一つとしているこの協議会の重要性がますます大きくなってきている。パイロット事業はスタートラインに立ったところであるので、今後も事務局あげて対応していきたい。

●事務局

今回は、年度末の平成29年3月頃に開催の予定。

以上